

# ふくやま 市議会だより

ばらのまち福山



FUKUYAMA



今回の定例会は

3月 6月

No.73

12月 9月

## 9月定例会

発行 / 福山市議会 編集 / ふくやま市議会だより編集委員会

発行日 / 2019年(令和元年)11月1日

〒720-8501 福山市東桜町3番5号

TEL.084-928-1136 FAX.084-920-1104

●今月の表紙●

別所10番砂留

(芦田町)

議会報告会を開催	2～3
9月定例会の概要	4
議案の審議結果	5
一般質問	6～10
委員会の活動	11
常任委員会の視察報告	12

# 開催 質問や意見!!

議会報告会に今回も多くの皆さまにご参加をいただき、さまざまなご意見をお聞きすることができました。昨年に続き、共通テーマと常任委員会ごとのテーマを決め開催いたしました。

このたびは、昨年7月豪雨の復旧対策をはじめ、福山城築城400年記念事業、福山道路の進捗状況、認知症対策、学校再編などの報告をし、まちづくりの在り方について、多くのご意見を伺うことができました。

各会場で頂いた質問や意見について、主なものを紹介します。

**問** 福山城築城400年を機に、福山市とJRがタイアップして、「福山駅」を「福山城駅」に改名し、知名度アップを図ってはどうか。

**答** 議会でも提案がありました。市民の意見もいろいろあり、今回の要望を受けて関心が高まれば議論になると思います。

**問** 学校再編では内海町の小学校もその対象となっているが、内海町に小学校を残してほしい。議会の考えはどうか。

**答** 議会の中でも議論していますが、再編の方向の意見が多い状況です。

地域から学校がなくなってしまうという皆さんの気持ちはわかります。ただ、内海町、沼隈町ともに子どもの数が減っており、学校再編はやむを得ないのではと考えています。

**問** 認知症サポーターの取り組みや、認知症対策の中・重度者への対応について教えてほしい。

**答** 認知症サポーター養成講座を開催し、地域で見守りができる取り組みを行っています。

中・重度者へは、介護支援専門員、認知症地域支援推進員を通じて医療と介護の連携を強化し、地域での支援体制を構築していきます。

20歳代以下	20人
30歳代	5人
40歳代	21人
50歳代	56人
60歳代	230人
70歳代	178人
80歳代	20人
無回答	1人

## 8月に開催した議会報告会の会場と参加者数

開催日	会場	担当の常任委員会	参加者数
18日(日)	ぬまくま市民交流センター	総務	27人
19日(月)	西部市民センター	民生福祉	58人
20日(火)	神辺文化会館	民生福祉	102人
22日(木)	しんいち市民交流センター	建設水道	82人
23日(金)	東部市民センター	総務	98人
25日(日)	市役所 大会議室	建設水道	85人
26日(月)	市役所 大会議室	文教経済	63人
27日(火)	人権交流センター	文教経済	56人
		合計	571人

# 議会報告会を 8会場で、さまざまな

## 参加者の 主な意見

- ▶ 浸水対策の取り組みと避難場所の改善は
- ▶ バス路線の運行ルート改善を
- ▶ 福山城の知名度アップのため福山城駅に改名しては
- ▶ 学校再編の在り方は
- ▶ 認知症サポーターの取り組みは

**問** 浸水対策における行政の連携した取り組みは。

また、昨年の豪雨災害を経験して、避難場所は改善したのか。

**答** 福山市域における浸水対策協議会で取りまとめ、今年4月に公表したハード対策のうち、抜本的な浸水対策となる河川整備は、流域ごとに影響する関係市町や関係機関と、計画段階から連携して実施しています。

避難場所は、本市のホームページで最新の情報が閲覧できます。また、協定により避難場所として使用できる民間企業の施設も確認できます。

**問** バス路線は、福山駅を起点として各方面へ運行しているが、それぞれ一方向のみの運行となっている。複数の方面を巡回するような運行にして利便性の向上を図ってはどうか。

例えば、鞆方面へ行く場合は鞆町が終点となるが、観光面からいうと福山駅と鞆、沼隈を循環してもいいのでは。

**答** 鞆と沼隈を循環するバス路線の敷設には鞆のまちなかの交通の課題があり、現在、トンネル整備による交通処理が検討されています。道路整備は観光面でも重要と考えています。

## 報告会開催の評価と参加者の年齢 (アンケートから抜粋)

評価する	184人	34.6%
まあまあ評価する	231人	43.5%
あまり評価しない	46人	8.7%
評価しない	2人	0.4%
無回答	68人	12.8%

## 議会報告運営委員会の所見

1会場当たりの参加者数は昨年より減少しましたが、どの会場も活発な意見交換がなされ、有意義な時間が持てたと感じています。

皆さまから頂いた多くのご意見や、アンケートの結果については、今後の議会活動に反映させていただきます。

なお、詳しい内容は、11月1日からホームページに掲載します。また、各公民館にも備え置きますので、ご覧いただけます。今後、より開かれた議会をめざして取り組みを進めます。

委員長 榊原則男

# 令和元年9月定例会



令和元年9月定例会（9月3日～24日／会期22日間）の概要は次のとおりです。

**3日** 専決処分、平成30年度健全化判断比率、平成30年度資金不足比率の報告の後、市長が市政の状況と27議案の提案理由を説明

**9日～12日** 議案や市政全般について18人の議員が一般質問

**12日質問終了後** 市長が12件の追加議案の提案理由を説明

一般会計補正予算案は、予算特別委員会を設置して付託

病院事業会計等の決算認定などの4議案は企業会計決算特別委員会を設置して付託し定例会終了後の9月25日から27日まで審査

平成30年度一般会計と11の特別会計の決算認定の12議案は、一般・特別会計決算特別委員会を設置して付託し10月7日から11日まで審査

それ以外の22議案は、所管の常任委員会に付託

**13日** 4常任委員会でそれぞれ議案を審査

**17日・18日** 予算特別委員会で議案を審査

**24日** 議案を審査した4常任委員会と予算特別委員会の委員長から審査結果の報告があり、それぞれの報告について採決し、23件の議案を原案どおり可決

この定例会で決まったこと

（一部をお知らせします）

## 【市長提出議案】

### ■補正予算

- 7月9日の大雨で被災した農道の復旧工事費

- 福山城天守と美術館プロムナードの夜間景観照明の整備費

- ファミリーパークの遊具の更新 など

### ■条例

- 消防団への積極的な加入を促進するため、消防団の区域外に居住する人でも当該区域内に勤務する人は消防団に加えられるよう改めます。（消防団条例の一部改正）



福山城



消防団の水防訓練

- 小中学校14校の図書等の整備

- 市営住宅（瀬戸川住宅ほか2カ所）の外壁改修等の費用

### ■その他

- （仮称）福山市駅家西交流館の新築工事に着手します。

## 令和元年9月定例会 議案の審議結果一覧

○は賛成、×は反対

付託委員会	議案名	水曜会 (13人)	公明党 (7人)	日本共産党 (4人)	誠友会 (4人)	市民連合 (4人)	新政クラブ (3人)	無所属 (3人)	採決結果
総務	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例等の一部改正	○	○	×	○	○	○	○	可決
	職員の分限に関する条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	可決
	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定	○	○	×	○	○	○	○	可決
	税条例等の一部改正	○	○	×	○	○	○	○	可決
	離島振興対策実施地域における固定資産税の課税免除に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	可決
	印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正	○	○	×	○	○	○	○	可決
	消防団条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	可決
	(仮称) 駅家西交流館新築工事請負契約締結	○	○	○	○	○	○	○	可決
	(仮称) 総合体育館建設工事請負契約締結の変更	○	○	×	○	○	○	○	可決
	(仮称) 総合体育館建設電気設備工事請負契約締結の変更	○	○	○	○	○	○	○	可決
	(仮称) 総合体育館建設空調設備工事請負契約締結の変更	○	○	○	○	○	○	○	可決
	(仮称) 総合体育館建設給排水衛生設備工事請負契約締結の変更	○	○	○	○	○	○	○	可決
民生福祉	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	可決
	幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例及び児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	可決
	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	×	○	○	○	○	可決
	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	×	○	○	○	○	可決
	市立認定こども園条例の一部改正	○	○	×	○	○	○	○	可決
文教経済	市立東小学校北棟校舎改築他工事請負契約締結	○	○	○	○	○	○	○	可決
	市立神辺中学校特別教室棟校舎改築他工事請負契約締結	○	○	○	○	○	○	○	可決
建設水道	都市公園条例の一部改正	○	○	×	○	○	○	○	可決
	水道給水条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	可決
	市道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	可決
予算特別	令和元年度一般会計補正予算	○	○	×	○	○	○	○	可決

賛否は、本会議後に会派等に確認したものです。議案名の「福山市」等是一部省略して表記しています。

# 一般質問

この定例会では、議案や市政全般について、18人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

その概要は、次のとおりです。  
（ ）内には、各会派等からの質問申し出時間を記載しています。

会派名など	質問者数	質問時間
水曜会	5人	340分
公明党	4人	210分
日本共産党	2人	150分
誠友会	2人	150分
市民連合	2人	150分
新政クラブ	1人	70分
無所属	2人	各30分

\*一般質問の録画放送をインターネットで見ることができます。(詳細は下段)



おおた 拓介  
水曜会 (90分)

## 100mm/h安心プランの財政支援の見込みは

**問** 手城川流域の雨水幹線とポンプ場の整備に総額120億円が見込まれているが、国土交通省の100mm/h安心プラン登録による国からの財政支援の見込みは。

**答** 今回の登録申請は県と連携

して行ったもので、昨年、一昨年の豪雨時の1時間最大降雨量と24時間最大降雨量に対し、床上浸水の解消等を目標としており、県は河川改修と排水機場へのポンプの増設を、本市は雨水幹線と雨水ポンプ場の整備等を実施する。

申請が認められると、本市が実施する雨水幹線等の整備に国からの財政支援として、対象事業費の50%が交付される社会資本整備総合交付金等が重点的に配分される。この登録が、抜本的な浸水対策を着実に推進する上で、大きな役割を果たすことを期待している。



さかきほろ 則男  
水曜会 (70分)

## 廉塾の保存整備にどう取り組む

**問** 特別史跡の廉塾の保存整備が計画的に進められており、今年度は発掘調査が実施された。①現在までの成果と課題は。②整備の基本的な考え方は。

**答** ①成果としては、発掘調査で江戸時代の絵図にも描かれている池の跡を検出することができた。

また、見学者の数も年々増加し、保存と活用に対する機運が高まってきている。

課題は、整備事業に長い期間と多額の費用が必要であることや、適切に管理、運営していくための所有者、地域、行政が連携した体制づくりが必要なことである。②全ての建物を整備する期間は、2020年からおおむね10年間で想定している。整備基本計画の基本理念を踏まえ、当時の学び、暮らしを体験できる場となるよう計画的な保存修理に取り組む。



つれいし 武則  
水曜会 (60分)

## ネウボラ相談窓口「あのね」を沼隈内海町地域に

**問** 「あのね」が市内12カ所に開設されて2年が経過した。①相談件数と課題は。②沼隈・内海町地域への「あのね」設置を求める。

**答** ①相談件数は3万4千件を

で母子健康手帳の交付を始めたこととで、保育所、こども園の「あのね」での妊婦の相談も増えている。妊娠後期の利用は約4割にとどまっており、出産後も身近な相談場所として「当然のように行く場所」となるよう取り組みをさらに進める。

②ぬまくま子育て支援センターに新たに妊娠、出産の相談体制を追加し、子育て期までワンストップで支援ができるよう、可能な限り早い「あのね」設置を検討する。



\* 9月定例会の一般質問の録画放送を見る場合  
福山市のホームページ → 福山市議会 → 議会中継 → ここからご覧ください。



石口 智志  
水曜云  
(60分)

**子ども科学館・未来館の建設は**

**問** 科学館のような子どもたちの好奇心をかき立てる場合は、ものづくり企業が多い備後圏域では意味のあるもので、将来の職業選択にもつながる。また、福山駅周辺のにぎわい創出にもつながると考えるが、どうか。

**答** 実験や展示、イベントを通じてさまざまな分野を学ぶことができる施設は、子どもたちの創造性を育む場としてだけでなく、世代を超えた交流の場としても有効であり、備後圏域の特色の一つであるものづくり産業に必要な人材育成の観点からも意義のある施設と考える。

県東部の玄関口である福山駅周辺のエリアが将来有すべき機能の候補の一つとして、全国の先進事例などを調査・研究していきたい。



喜田 紘平  
水曜云  
(60分)

**小中学校での子どもものづくりの取り組みは**

**問** ①プール施設の今後の見通しと在り方をどう考えるか。②今年度末のエアコン設置完了を踏まえ、各家庭の負担軽減と教育の質の向上のため、夏休みを短縮化してはどうか。③学力向上に向けた取り組みは、

**答** ①耐用年数を80年とした試算では、今後の1校当たりのライフサイクルコストは約2億4千万円と見込んでおり、長寿命化の取り組みとともに、現在、公共や民間の施設の活用を検討している。

②短縮化は教職員の働き方改革など教育環境整備の一つであり、家庭の負担軽減にも有効と考え、実施に向けた検討を始めている。

③学力向上アドバイザーに選任した文部科学省の専門官に指導、助言を求めながら、個に応じた学びの在り方等を考え、「子ども主体の学び」づくりを進める。



塚本 裕三  
公明党  
(55分)

**核兵器廃絶に向けた取り組みは**

**問** 被爆体験の継承は。

**答** ピース・ナビ事業等を通じて行っており、今後も高校生平和大使等の若い世代や市民団体等、多くの市民と連携して推進する。また、学校においては、平和学習で原爆語り部の方の被爆体験を聞くなど取り組んでいる。



中安加代子  
公明党  
(50分)

**児童虐待防止対策は**

**問** 虐待の発生予防、早期発見のための体制整備は。

**答** 地域における相談窓口や子育て支援拠点の設置促進については、現在、地域子育て支援拠点事業を市内33カ所で実施し、子育て世代包括支援センターとしてネウボラ相談窓口「あのね」を12カ所

**頻発する自然災害に備えて**

**問** ①防災重点ため池の選定基準見直しにより既存の175カ所を含む1110カ所が選定された。ハザードマップ作成は。②安全な避難行動の取り組みは。

**答** ①既存の175カ所は作成しており、残る935カ所は2022年度までに順次作成する予定。②県の「自主防災組織による避難を呼びかける体制づくり支援事業」と連携し、効果的な避難の呼びかけ体制の検討を深める。

に設置して子育ての孤立化を防ぐための体制整備に努めている。また、体制強化のため、子ども家庭総合支援拠点の2021年度中の設置に向け検討している。

児童虐待については、多くの関係機関が参画する要保護児童対策地域協議会で支援方針と役割分担を整理し、支援を行っている。

「あのね」、子ども家庭総合支援拠点、児童相談所が緊密に連携することで、より効果的な対応ができるものと考えている。

\*ライフサイクルコスト：企画設計の段階から、建設、清掃や点検・補修等の運用管理、解体の段階にわたる建築物の生涯に必要な費用の総額。

\*ピース・ナビ：戦争の記憶を引き継ぐ学習を継続するとともに、学習の成果を「恒久平和の願い」として発信していく平和案内人。



門田 雅彦  
公明党  
(55分)

**ICT(AI・RPA)導入によるスマート自治体に向けた取り組みは**

**問** 本市では、どの分野の業務でAI・RPAを導入するの  
か。また、その効果をどう見込  
んでいるか。

**答** AIは大量データの分析や  
問い合わせ対応業務等への活用



宮本 宏樹  
公明党  
(50分)

**福山北産業団地周辺の  
道路渋滞への対応は**

**問** ①第2期事業完成後に予  
想される周辺の渋滞への対応は。  
②国道182号へアクセスする  
道路を整備する考えは。  
③通勤のためのバス路線の延長  
や、JR福塩線の最寄り駅への  
アクセス手段開設の考えは。

適しており、今年度は健診の受診  
勸奨で活用する。次年度以降も相  
談・案内業務等にロボットが自動  
で回答するチャットボットを導入  
するなど、AIを積極的に活用す  
ることで、業務負担の軽減だけ  
なく、24時間対応による市民サー  
ビスの向上を図りたい。

RPAは定型的で膨大な作業量  
のある業務への導入が適しており  
今年度から国民健康保険税や介護  
保険料の口座振替登録等の4業務  
に導入する。これにより、年間に  
換算すると約950時間の業務削減  
効果を見込んでいる。

**答** ①本年1月に周辺の交通量  
調査をした結果、国道と接続する  
主要交差点での通勤時間帯の混雑  
が確認された。現在、第2期事業  
完成後に予想される交通量を加え  
て検証を進めており、その結果を  
踏まえ具体的な対応につなげる。  
②将来的な産業団地拡張に合わせ  
整備する考えである。

③公共交通の利用促進は、環境負  
荷の軽減や渋滞解消につながるが  
バス路線新設には採算性の確保が  
必要で、今後、進出する企業の動  
向等を踏まえ検討する。



高木 武志  
日本共産党  
(75分)

**給食費の実費徴収の中止を**

**問** 幼児教育・保育の無償化  
後も、給食は保育の一環とし、  
実費徴収は中止するよう国に要  
望すること。

**答** 給食費について、国は副食  
費の実費を保育料として負担する  
よう制度設計しており、無償化後  
もこれまで同様、保護者に負担を



村井 明美  
日本共産党  
(75分)

**ネオニコチノイド系農薬の  
使用中止を**

**問** ①学校給食には、有機栽培  
や減農薬栽培等の安全な野菜  
を使い、地産地消を進めること。  
②国にネオニコチノイド系農薬  
は使用しないよう求めること。

**答** ①新鮮な地場産物を使用し  
安心・安全な給食の提供に努める。

お願いすることになる。

**市営住宅の改善による活用を**

**問** ①修繕費を増額し、活用  
できる住宅を増やすこと。  
②既存の住宅のバリアフリー化  
とエレベーターの設置を求める。

**答** ①計画的な改修工事や必要  
な修繕を行っており、引き続き安  
全で快適な住まいの確保に努める。  
②バリアフリー化は手すりの設置  
を進めている。エレベーターの設  
置は構造上困難と考える。

②国は農薬取締法の改正に伴いネ  
オニコチノイド系を含む全ての農  
薬の再評価を行う予定と聞いてお  
り、この結果を注視する。

**通級指導教室の利用は**

**問** 来年度も小学校1年生か  
ら情緒通級指導教室が利用でき  
るよう現行制度を継続すること。

**答** 1年生の子どもや保護者が  
不安や困り感を持つ場合、通級指  
導教室担当教諭が思いを聴いたり  
必要に応じて支援を行い、現行制  
度の継続は考えていない。

※ R P A (Robotic Process Automation) : 定型的なパソコン操作などの事務作業をソフトウェアのロボットで自動化すること。



いなばせいいちろう  
稲葉誠一郎  
誠友会  
(90分)

### 平成30年7月豪雨災害への対応は

#### 問

①本市が行う災害復旧工事の進捗状況は。  
②国・県・市で実施している浸水対策の現状は。

#### 答

①土木施設や農用施設等の災害復旧工事は1583件あり本年8月末時点では1380件が



ひらまつ  
平松 正人  
誠友会  
(60分)

### 学区自主防災組織の活動は

#### 問

避難場所を開設する時の市との初動連携は。

#### 答

本市と自主防災組織との間に昨年11月にホットラインを開設し、市への開設連絡や、気象情報の提供、要望の受け付けなど、連携体制を構築した。

契約済みで残りの203件は発注準備中である。全体の78.9%に当たる1249件が完成済みである。  
②国は芦田川と高屋川に危機管理型水位計15カ所の設置等を行い、

県は21河川の河道掘削等を実施している。本市も河川等の土砂撤去や排水機場への防水施設の設置のほか、手城川流域の雨水幹線とポンプ場をはじめ排水機等の設計を行うなど、それぞれが「福山市域における浸水対策協議会」で取りまとめた内容に基づき着実に取り組んでいる。おおむね5年間で抜本的な浸水対策に取り組み。

### 福山城跡保存活用現状は

#### 問

①石垣整備の進捗状況は。  
②福山城天守外観を築城時の姿に一部復元するが、その具体は。

#### 答

①基礎データ収集のため発掘調査を行っており、今年度は神辺一番櫓周辺を調査する予定で、今後、調査結果等を踏まえ整備計画を策定する。  
②北側の鉄板張りや、格子の色を黒色に復元するなど、できる限り往時の姿に近づけていきたいと考えている。



いけがみ  
池上 文夫  
市民連合  
(75分)

### 認知症・地域ケア相談医制度の導入は

#### 問

会派で視察した富山県高岡市は、市医師会の協力を得て圏域ごとに認知症・地域ケア相談医を配置し、在宅支援体制を強化している。相談医と地域包括支援センターとの連携も密にされ、認知症対策に効果を上げ



にしもと  
西本 章  
市民連合  
(75分)

### 外国籍市民対応を考えた案内表示等の在り方は

#### 問

外国籍市民が多くなる中庁舎の案内表示等の多言語化が必要では。また、相談窓口等で意思疎通を図り、共通理解を得るため、翻訳機導入の検討を。

#### 答

現在、庁舎等でローマ字や英語で表記している例はあるが、

ていた。こうした相談医制度の本市への導入の考えは。

#### 答

本市では、地域包括支援センターが、医療・介護専門職等の参加する「地域ケア会議」で個別事例の支援内容等を検討している。

また、地域の認知症医療で中核的な役割を持つ認知症疾患医療センターでは、認知症サポート医やオレンジドクター等の医療・介護関係者の連携を図っている。これらの体制は高岡市の制度と同様の役割を担うもので、地域支援の充実強化に努める。

庁舎の案内板や庁舎以外の公共施設の多くに多言語での表示はない。早急に多言語表示の基準を策定して、まずは公共施設から対応し外国籍市民の利用が見込まれる民間施設にも協力を要請する。

また、本市の相談窓口では現在英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語の4カ国語に対応しているが、在住者が多いベトナム語をはじめ、さらなる多言語対応が必要と考えている。翻訳機導入は有効な手段であり、今年度、翻訳アプリを搭載したタブレット端末を導入する予定である。

※認知症サポート医：かかりつけ医への認知症の診療等に対する助言や支援を行うとともに、専門医療機関や地域包括支援センターとの連携の推進役となる医師のことで、3月末時点の本市の人数は43名。

※オレンジドクター：日頃受診するかかりつけ医に気軽に認知症の相談ができるよう、「もの忘れ・認知症相談医」として広島県が認定した医師のことで、3月末時点の本市の人数は145名。



宮地 毅  
新政クラブ  
(70分)

**高齡者が安心してキャッシュレスに対応するためには**

**問** 消費税率引き上げに伴うキャッシュレス・消費者還元事業等のルールが非常に分かりにくく、今後、詐欺等のトラブルの増加が予測される。高齡者の方が安心してキャッシュレスに移行するための対応は。

**答** キャッシュレス・消費者還元事業の周知のため、国と連携しポスターやチラシ、広報紙による啓発の準備を進めている。

また、キャッシュレス決済を利用する場合の留意点や特殊詐欺の被害に遭う危険性について市民に注意喚起するほか、高齡者に対しては、市老人クラブ連合会と連携し、消費生活センターによる出前講座の開催やチラシの配布に取り組む。

今後も機会を捉えキャッシュレス化に伴うトラブル減少に努める。



藤原 平  
無所属  
(30分)

**多文化共生社会の実現に向けて**

**問** 在留外国人の増加に伴い多文化共生のための計画的、体系的な施策展開が必要と考える。①本市の外国人市民の状況は。②多文化共生のまちづくりのポイントは。

**答** ①本年9月1日現在の外国人市民は55カ国9852人で、国

籍別では、ベトナムが一番多く3194人、中国2503人、フィリピン1583人、韓国741人、ブラジル388人、インドネシア316人である。

②国籍や文化の異なる人々が対等に地域社会の構成員として共に生きていくためには、お互いに相手を理解し認め合うことが重要であり、多文化共生のまちづくりに向け、外国人市民と日本人の交流や多言語による情報発信、日本語教育、生活相談等に取り組んでいる。施策の充実に取り組み、誰もが住みやすいまちづくりを進める。



石岡 久彌  
無所属  
(30分)

**同和行政についての市長の答弁は虚偽であり許されるのか**

**問** 市民の嫌がる同和行政一般対策（差別をするな、差別をするな旨の看板・広報紙・市民憲章、住民学習会等）の撤廃を求めた私の質問に、市長は過去本市における同和行政は2005年度をもって終了している旨

の答弁をされた。特別対策は同年度で終了したが、現在も一般対策として行われているにもかかわらず、いかにも同和行政そのもの、全体が現在全て終了しているかのような虚偽の答弁が許されるのか。

**答** 本市における同和行政は、2005年度をもって終了している。以降は、同和問題を、福山市人権施策基本方針に基づき、解決すべき人権問題の一つとして一般対策の中で取り組んでいる。

## 平成30年度 企業会計決算を審査

9月定例会に提案された平成30年度の企業会計（病院、水道、工業用水道、下水道の各事業会計）決算認定議案を、企業会計決算特別委員会（委員18人）を設置し、9月25日から27日まで審査しました。

25日に帳簿等の書類審査、26日に質疑を行い、各事業会計の予算が効果的に執行されているかなどを審査しました。27日にはそれぞれの事業会計について討論を行い採決し、決算特別委員会として、それぞれの決算を認定することに決定しました。

なお、この結果は12月定例会の初日（12月4日開催予定）で委員長報告を行います。



書類審査の様子

### 12月定例会の開催予定

日	月	火	水	木	金	土
12/1	2	3	4	5	6	7
			★本会議 (市長提案説明など)			
8	9	10	11	12	13	14
議会運営委員会	★本会議 (一般質問)	★本会議 (一般質問)	★本会議 (一般質問)	★本会議 (一般質問など)		
15	16	17	18	19	20	21
常任委員会	予算特別委員会	予算特別委員会			議会運営委員会 ★本会議 (委員長報告・討論・採決など)	



- 本会議・委員会とも午前10時から開会の予定です。  
(ただし、12月20日の本会議は午後1時からの予定です。)
- ★印の日は、本会議の生中継をインターネット配信します。
- 詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。☎084-928-1136

## 委員会の活動(7月～9月)



7月から9月末までの委員会の主な活動状況は、次のとおりです。

### ◆常任委員会

開催日	調査・審査項目	開催日	調査・審査項目	
総務	8/26	文教 経済	8/26	・福山北産業団地第2期事業の進捗状況 ・福山城博物館におけるアスベストの使用 ・小学校、中学校および義務教育学校における留守番電話の整備 など
	9/13		9/13	・付託された議案(2件)の審査 ・次期ごみ処理施設の整備 ・部活動の方針の策定
民生福祉	8/26	建設 水道	8/26	・服部学区への乗り合いタクシー導入 ・中央公園公募設置管理制度(パークPFI)導入に関わる実証実験結果 ・特定空き家等に対する略式代執行 など
	9/13		9/13	・付託された議案(3件)の審査 ・手城川流域における内水排除対策施設整備

### ◆特別委員会

	開催日	調査項目
行財政改革	9/2	・公共施設等サービス再構築基本方針の改定 など
都市整備	7/5	・福山駅前の再生 など

各委員会の詳しい内容は、議会ホームページの「会議録検索」からご覧いただけます。  
なお、委員会記録の作成には日数を要しますので、ご了承ください。

## 総務委員会(7月29日～31日)

東京都北区：赤羽体育館を核としたパークゾーンについて

赤羽体育館を核としたパークゾーンについて

東京都北区：赤羽体育館を核としたパークゾーンについて

赤羽体育館を核としたパークゾーンについて

赤羽体育館は、無料の幼児体育室や高齢者が半額で利用できるトレーニングルーム等を備え、スポーツパークゾーンの中核として区民のにぎわい拠点となりました。また、中高生の放課後の居場所づくりとして、1回100円で施設を利用できる時間帯を設けるなど工夫されており、大変参考になりました。浜松市では、避難所運営ゲーム「HUG」を用いた避難所運営訓練により大規模災害への備えに取り組み、長久手市では、幸福度を測る独自の「幸せのモノサシ」を用いて地域のつながり強化に努めており、今後のまちづくりを考える上で大いに参考になりました。

(委員長 連石武則)



東京都北区

## 常任委員会の視察報告

## 民生福祉委員会(7月29日～31日)

大田区：大田区立障がい者総合サポートセンター

「たぽーとぴあ」について

宇都宮市：共働き子育てしやすい街ランキング2018の評価について

港区：港区立特別養護老人ホーム「サン・サン赤坂」について

「たぽーとぴあ」では、相談、居住、就労支援をはじめ、発達障がい児や医療的ケアの必要な方への支援など、多岐にわたる支援がワンストップに近い形で実現されています。

昨年「共働き子育てしやすい街ランキング」で全国1位に輝いた宇都宮市では、その要因となっている市独自の子育て支援策の数々を学びました。

港区では、廃校となった小学校をリノベーションした高齢者福祉と児童厚生の複合施設を整備し、世代を超えた理解と支え合いの取り組みを進めています。(委員長 大塚忠司)



大田区

## 文教経済委員会(7月29日～31日)

山口市：コミュニティ・スクールの推進について

山口市

熊本市：熊本城の復旧状況と復旧計画について

山口市では、全ての小中学校にコミュニティ・スクールを導入しています。

「やまぐち型地域連携教育」として、コミュニティ・スクールが核となり、「地域協育ネット」の仕組みを生かして各中学校区で地域のネットワークを形成し、社会総がかりで子どもの学びや育ちを支援しています。

学力の2極化、教育施策の市町間での格差、教職員の取り組み格差、中学校の荒れ等、学校だけでは解決できない問題の改善に向けたさまざまな取り組みの報告がありました。

今後の学校運営の在り方を考える上で参考になりました。

(委員長 生田政代)



山口市

## 建設水道委員会(7月29日～31日)

目黒区：目黒天空庭園の整備について

都留市：家中川小水力発電所について

豊島区：南池袋公園の整備について

目黒天空庭園は、首都高速道路ジャンクションの屋上を緑地化した庭園です。

ドーナツ状の楕円形で、芝生を基礎として多くの樹木や花が植えられています。

福山駅前再生ビジョンにある芝生の駅前広場のヒントになればと感じました。

家中川小水力発電所で発電した電気は市役所庁舎の電力として使用されています。発電量は天候に左右されず安定しており、本市への導入の可能性もあるのではないのでしょうか。

豊島区では、南池袋公園をよくする会により、公園利用のルールや公園のさらなる魅力向上策が話し合われています。PFIで公募した公園内のカフェは、多くの利用者でにぎわっていました。

(委員長 大田祐介)



写真提供：目黒区

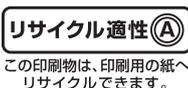
## 編集後記

令和元年も残りわずかとなりました。今年も、台風15号・19号による豪雨や浸水、大規模停電等、各地で甚大な被害が発生し、改めて、「当たり前」の生活を当たり前に送ることのできる「ありがたさ」を痛感しました。

本市では、抜本的な浸水対策に取り組んでおり、手城川流域の浸水対策が「100mm/h安心プラン」に登録されました。さらに皆さまが安心・安全に過ごせるまちになることと思います。

これからも編集委員一丸となって、議会活動を分かりやすくお伝えできるよう努めてまいります。

(宮地 毅)



【ホームページアドレス】 <http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/gikai/>

【メールアドレス】 [giji-chousa@city.fukuyama.hiroshima.jp](mailto:giji-chousa@city.fukuyama.hiroshima.jp)

